

平成20年度事業評価書（事後）要旨

評価実施時期：平成20年8月

担当部局名：職業能力開発局能力評価課

事業名	ものづくり立国の推進
政策体系上の位置付け	<p>基本目標 労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるよう環境整備をすること</p> <p>施策目標 技能継承・振興のための施策を推進すること</p> <p>施策目標 3-1 技能継承・振興のための施策を推進すること</p>
事業の概要	<p>①若年者ものづくり人材育成促進事業 ものづくり技能の魅力を開発し新時代に適合した若年ものづくり人材を育成するため、「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」を契機とした若者技能者の育成のため の各種事業により若者の職業意識やものづくり技能尊重の気運を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪国際大会出場選手に対する強化訓練の実施 ・企業の工場・訓練校、公共職業能力開発施設等の開放促進等によるものづくり体験の促進 ・高度熟練技能者を活用した若年者等のものづくり人材育成支援 <p>②「ものづくり立国」の社会的基盤の整備 「ものづくり立国」推進のため、「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」を活用しつつ、ものづくり技能の魅力若者をはじめ国民各層へ周知し技能尊重気運の醸成を図り、ひいては、若者の就労促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界技能シンポジウム等の開催 ・ものづくり情報広報サイト等を活用した啓発・広報
施策に関する評価結果の概	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(1)有効性の評価</p> <div data-bbox="359 1115 1284 1400" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>有効性の評価</p> <p>シンポジウムやホームページ等によるものづくり情報の発信は、若年者をはじめ広く国民がものづくり技能に関心や理解を示す社会的素地を形成する契機となり、一方、「ものづくり体験教室や若年者ものづくり競技大会の開催」「技能五輪国際大会の選手強化」といった若年者を対象としたものづくり人材の育成の取組は、技能を習得したいという若年者のニーズに応え、ものづくり産業への入職の促進等に繋がるものである。この2つの取組は、我が国の「ものづくり立国」としての推進上、重要な2つの柱と位置付けられるものであった。</p> <p>平成19年11月に開催された「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」は、国家的プロジェクトとしても位置付けられながら、この2つの柱の中に重要な核として組み込まれたが、多くの来場とともに、日本選手が好成績を収めるなど、本事業の成果が発現するものとなった。</p> </div> <p>(2)効率性の評価</p> <div data-bbox="359 1624 1321 1742" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>効率性の評価</p> <p>17年度から実施されている本事業は、3年目が一つの節目であったが、2007年問題を背景としながら、同年に開催された「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」を、本事業推進上の”大きな山”と位置付け、大会との相乗効果が図られたことにより効率性は高かったものと評価する。</p> </div> <p>(政策等への反映の方向性) 評価結果を踏まえ、平成21年度予算概算要求において所要の予算を要求する。 (概算要求額:535百万円)</p>

要と達成すべき目標等

【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】

アウトプット指標 (達成水準/達成時期) ※【 】内は、目標達成率(実績値/達成水準)						
		H15	H16	H17	H18	H19
1	シンポジウム、フォーラムの開催数	—	—	7	5	1
2	技能五輪国際大会の金メダリスト等による実演数	—	—	7	5	—
3	ものづくり体験教室の開催数	—	—	87	189	99
4	企業の工場・訓練校を対象にした講習会の開催数	—	—	15	19	—
5	高度熟練技能者の派遣人日	1,237	1,128	1,615	2,181	2,463
6	若年者ものづくり技能競技大会の参加選手数	—	—	203	224	—
7	選手強化訓練人日	—	—	226	379	1,042
8	ホームページのアクセス件数	—	—	62,631	172,000	213,327
参考指標		H15	H16	H17	H18	H19
1	2007年ユニバーサル技能五輪国際大会の来場者数(150,000人以上/平成19年度)	—	—	—	—	292,800【195.2%】
2	3級技能検定の受検者数(前年度実績(141,120人)以上/平成19年度)	72,306【119.9%】	78,337【108.3%】	105,349【134.5%】	141,102【133.9%】	159,606【113.1%】
(調査名・資料出所、備考)						
1、2：民間団体に事業委託し実施された回数						
3、4、5：都道府県職業能力開発協会の調べによる。						
6、7：中央職業能力開発協会の調べによる。						
8：(財)2007年ユニバーサル技能五輪国際大会日本組織委員会の調べによる。						
(参考指標)						
指標1は中央職業能力開発協会及び職業能力開発局調べによる。						
指標2は(財)2007年ユニバーサル技能五輪国際大会日本組織委員会、静岡県調べによる						

関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)

施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)
職業能力開発促進法及び中小企業における労働力の確保及び良好な雇用の機会の創出のための雇用管理の改善の促進に関する法律の一部を改正する法律案に対する附帯決議	参議院厚生労働委員会：平成18年5月11日決議 衆議院厚生労働委員会：平成18年6月9日決議	「二〇〇七年ユニバーサル技能五輪国際大会」の成功に万全を期すとともに、同大会を契機として、技能とものづくりの振興に積極的に取り組むこと。
2007年ユニバーサル技能五輪国際大会の日本開催について(閣議了解)	平成17年11月11日	財団法人2007年ユニバーサル技能五輪国際大会日本組織委員会が平成19年11月7日から同月21日まで静岡県において開催する2007年ユニバーサル技能五輪国際大会に対し、関係行政機関は必要な協力を行うものとする。